



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA-

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

Aug. 1984 III-2

THEME (1984~'85)

- I. P. 「今こそ行動のとき」
 R. D. 「限りなき熱情を奉仕に」
 D. G. 「奉仕と誠をもって前進しよう」
 P. 「創ろう新しい伝統を」

8月・コミュニケーション強調月間

納涼例会・プログラム

とき 8月22日(木) 18:30~20:30
 ところ ローゼンタール肥後橋(幸福相互ビル)
 (地下鉄肥後橋下車、肥後橋南詰西角)

司会 浦野 啓一 君

1. 開 会 中村 会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖句朗読 皆本 勝久 君
4. ゲスト紹介 中村 会長
5. 役員会報告 "
6. 食前感謝「日々の糧」 一 同
7. 乾 杯 — ビヤパーティ — 山田 孝彦夫妻
8. スピーチ「1 CM及び国際大会に出席して」
谷川 寛 君
9. エンターテインメント 正司 MET
10. 誕生日のお祝い
11. インフォメーション・YMCAニュース

12. 閉 会 中村 会長
 ▼臨時会費 メン、3,000円、メネット、2,000円
 ゲスト、4,000円

▼例会当番(山田、黒田、浦野、松添、皆本)



▽ 誕生日おめでとう

森 庄司 君	1928年8月 4日
森 晴美 メネット	8月 22日
瀬戸孝太郎 君	1943年8月 5日
田中 綾二 君	1925年8月14日
岡本 節子 メネット	8月 19日
河野 正義 君	1937年8月23日
山田 孝彦 君	1930年8月23日
谷川 寛 君	1934年8月30日

If your brother sins against you, go and show him his fault, just between the two of you. If he listens to you, you have won your brother over. But if he will not listen, take one or two others along, so that every matter may be established by the testimony of two or three witness.

兄弟がお前に対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を取り戻したことになる。聞き入れなければ、ほかに一人か二人、いっしょに連れて行きなさい。「すべてのことは、二人ないし三人の証言で確認される」と書いてあるからである。

(マタイオスによる福音 18章15節~16節)

7月例会 出席者 (在籍会員 34名)

	第1例会	第2例会	Make up	累 計
メ ン	22名	12名	2名	24名
出席率	64.71%			70.59%
メネット	4名	5名		
コメント		4名		
ゲスト	1名	4名		
ビジター	1名			
合計	28名	25名		

○ゲスト SOMCHAI SRISOMPONG(山村君)
 SAKRAPEE SRISOMPONG(山村君)
 (タイ留学生、大阪大学大学院生とコメント)

大谷聖二君(浦野君)、浦岡 浩君(正司姉)、福永嘉彦君(山田君)

○ビジター 林 茂博君(沼津クラブ)

○メネット 黒田、杉本、鈴木、田中、谷川、山田、山中、山村 各メネット

○コメント 正司泰代さん、浦野 3コメント(恵さん、啓次さん、庄吾さん)

創ろう新しい伝統を、

会長 中村隆幸

1982年9月25日に産声をあげ、そして満2才になるうとするわが愛すべきセンテニアルワイズメンズクラブの第3代会長を引き受けることは、名誉なことであると同時に、大きな責任を感じ、毎日を不安な気持ちで過している状態にあります。

さて、人間の場合も2、3才になると、ヨチヨチ歩きではあるが、1人で歩きははじめますし、また、自我にもめざめだし、1人の人間としての性格が形成されはじめます。わがクラブも、やっと1人で歩き出すことができるようになったこの時期に、将来のクラブの顔となるべき特色を、創りはじめめる必要があるように感じます。そして、それを基本的な方針として受け継ぎ、行動化することにより、素晴らしい伝統を形成することになるのではないかと思います。

今般、このような考えのうえに立って、私は、わがクラブの顔としての方針を、国際的なコミュニティーサービス活動に積極的に参画するというところに、集約したいと思えます。具体的には、YMCA国際社会奉仕センターのプログラムに積極的に協力、参加することです。また、IBC、YEEP等の活動にも充分な支援を示すことあります。しかしながら、国際的なプログラムに参加、協力するためには、個々のメンバーの自覚と協力、そして財政的基盤の確立が必要であります。そのためには、楽しくそしてメンバー全員が出席したいと感じる例会運営が私に課せられた役割だと思えます。全力をあげて、この役割に取り組む覚悟ですが、メンバー諸氏の積極的なご支援を心からお願い致します。



出発にあたり

メネット会長 中村幸枝

「主人がワイズに入っているのでも私も出来る限り主人を助けてあげたいと思っています。ですから例会にも出席するようにしています。」このお言葉は最近センテニアルワイズの奥様が電話口でおっしゃったものです。これを耳にしながら、この方は御心が清らかで、理知的で、そしてすばらしい行動力の持ち主でいらっしゃると思えました。更にこの方はあらゆる分野で御主人に常に内助の功を尽くしておいでのはず…と考えさせられました。そうしているうちに私はメネット会の在り方が、またメネット会長の名を頂いた私の成す可きことが見えてきたように思いました。—メネットはワイズメンズクラブの活動を理解し、見守り、ある時は一緒に参加し、できることを手伝い、ワイズメン運動を盛り上げる—ワイズメネットの手引きより—

私達メネット会も、より親睦を深め楽しみの中にあるいろいろな行事を計画・実行し、多くの資金を集めて活発なセンテニアルメネット会にしたいものです。

私は7か月女児の新米ママ。襁褓を携えてちいさなコメントと共に活動に参加したいと思っています。微力ながら1年間役割を担いたいと思います。

皆様の御指導を頂きますように。

▽ 7月例会の主な記事

- 新年度を迎え、気分一新して新会長の方針、抱負をはじめ各事業委員長より計画、抱負等の決意が述べられた。また、前年度の事業報告、会計報告が山中前会長および藤本前会計委員長より行われ、引続き新年度予算案に関しても審議がなされた。
- また、国際大会出席の鈴木ご夫妻、谷川君への激励の言葉がおくられ、出発への門出を祝した。
- 沼津クラブより林茂博君が出席し、元ASFの事業主任として活躍された豊富なキャリアから有意義なお話があり、一同熱心に耳を傾けるひとときでした。



【会計報告】

前年度決算報告及び本年度予算

(収入の部) (単位:円)

項目	837~846予算	同 決算	847~856予算
前期繰越	636,700	636,700	263,140
会費収入	1,715,900	1,566,400	1,907,900
入会金	100,000	40,000	100,000
事業収入			
特別事業収入			
雑収入	200,000	266,110	500,000
合計	2,652,600	2,509,210	2,771,040

(支出の部)

項目			
会費支出	296,725	278,680	282,865
入会金	22,500	9,000	22,500
諸分相金	60,850	144,400	80,050
例会費	809,500	781,680	1,287,000
事務印刷費	388,000	508,500	495,825
通信交通費	53,000	44,910	44,400
物品費	142,000	174,400	61,900
慶弔交際費	73,000	110,100	80,000
事業費	257,000	176,400	391,500
特別事業費			
予備費	50,025	18,000	25,000
次期繰越	500,000	263,140	0
合計	2,652,600	2,509,210	2,771,040

1. 諸物価高騰の折柄止むを得ず会費を54,000円/年に値上げします。但し入会金は据え置きとします。

会費には日本区費・日本区大会分相金・国際会費・アジア会費・中西部会費・ASF・BF・名簿代を含みます(17,270円)。尚、当クラブの実質運営費用は1人当たり36,730円となります。(会計・柴田、西出)

●各事業委員長の方針、抱負については以下の通りです。

YMCAサービス

平田 雅利

ワイズメンズクラブの大きな目的の一つは、YMCAをサポートすることと聞いておりますが、とかく忘れがちになってしまいます。当クラブにおきましてのYMCAの青少年事業、国際事業等のプログラムにより多くのメンバーの方に理解をしていただくお手伝いをさせていただき、又YMCAのプログラムに御協力ができればと考えています。とかく組織化されたこの時世の中にあって古き人間味あるYMCAを少しでも見出せることに御協力ができればと思います。メンバーの皆様の御協力をお願い申し上げます。

E M C

山村 幸明

前委員長の通り、今年度も下記の通り計画し実行いたしたく思います。立派なレールを敷いて下さった杉本会員に感謝致します。中村会長の方針に基づき

1. 例会の楽しい雰囲気作りを行い、「楽しい例会」「楽しい出席」に重点をおき、よって出席率を高める。
2. ファンド委員会、会計と協力してドアブライズを行う
予定月 1984年9月・12月
1985年3月・6月
目標額 150,000円
3. 会員増強は前年度末の10%アップを行い、立派な仲間をむかえたいものです。

上記実行のためにはやはり会員皆様の相互理解が大切と思っておりますので御協力、御支援をお願い申し上げます。委員には大先輩の杉本、正司の両名の在籍もお忘れなく。

C S

上月 英子

税理士団体や税法の勉強グループのお世話はかなりしてきたが、第一例会に出席するのが精一杯で、決して熱心な会員でない私にワイズの委員長がまわってくるとは思いもよらず、いささか戸惑っている。

にわか勉強でCSの意義を学び、中村会長の方針とも合わせ、今年度の目標を次の通り考えてみた。

1. Time of Fast
わがクラブでは、前年度より2月を断食の月として実行しているので引き続きこれを実行し、飢えることがどういふことを考える機会を持つ。
2. CS資金
お年玉当選切手シートを集める。従来から例会、ブリテン等で呼びかけているが、今年度の具体的目標として会員全員が必ず5枚以上集めること。
3. CS活動
国際社会奉仕センターのプログラムに積極的に参加すること。

センテニアル以外はワイズの体験も無く、まだ事業全般についての知識も乏しく、具体的にどのように活動するべきか分かりませんが、これを機にワイズ活動に積極的に取り組むたいと思います。どうぞよろしくご指導とご協力をお願い致します。

YEEP

安福 又四郎

今回、はからずも YEEPの委員長を拝命した。まだ、YEEPについては十分な知識を持っていないが、YEEPとは、「YOUTH EDUCATIONAL EXCHANGE PROGRAMME」の事であり、日

本語にすれば「青少年教育交換計画」で青少年学生が外国より日本に留学し、又日本よりは、青少年学生が外国の家庭に滞在し学校に留学するという事で Y's MEN'S CLUBの種々の奉仕事業の中でも、最も両国間の相互理解、国際親善につながる、重要かつすばらしい事業であると信じている。既にこのような希望者は日本・アメリカ間に数人おられると聞いている。又当クラブには、海外との交流経験のあるベテランもかなりおられるので、そういう方々と連絡をとり、その希望を単なるのぞみでなく具体性のある計画に結びつけ、本年の事業としたいと考えている。それには当クラブメンバーならびにメネットのご尽力、ご理解を要することなので、よろしくご協力をお願いしたい。又副委員長、各委員の皆様のご協力によってこの計画の実現を図るようできる限りの努力をしたいと考えている。先輩諸兄のご指導をお願いする次第です。

A S F

山中 秀男

日本区定款の改定もあり、従来のYMCAの専事志望者に対する奨学金支給から、より広くYMCAを支援する資金として活用することになりました。

有能にして、意欲ある若者を発掘してYMCA活動の拡大活性化に貢献したいと考えています。

プログラム

山田 孝彦

プログラム委員会の役割は、毎月の例会プログラムはもちろんですが、クラブの運営をワイズダムの目的や会長方針の実現を推進するよう全体プログラムを考えることと理解しています。

そのためには、各事業委員会の活発で計画的な活動が基盤となります。センテニアルクラブならではの「新しい伝統」となるようなユニークなプログラムをどしどし生み出したいものです。

ワイズの活動はまず参加することから始まるともいえます。プログラム委員以外の方でもどンドン委員会に顔を出して口をはさんで下さることを歓迎します。

フェンド

黒田 巖之

本年度より初めて設けられた委員会であるだけに、その責任を痛感しています。

わがクラブが、その目的であるYMCAを通して社会奉仕をするためには、それに必要な活動資金を確保しなければなりません。しかし、会員の方々からばかりご協力をお願いしては、会員数にも限りがあり、お互いのフットロにも限度がありますので、難しいことではありますが、基本方針としては、できるだけ会員外の方々からも協力して頂くように考えたいと思っています。

一応目標を創立10周年に置き、それまでに段階的にファンドを積立てたいと思います。さしずめこの年度の終りには30万円から50万円位をつくりたいと考えています。

- 方法 (1) ドアブライズ
(2) 洗剤の販売により資金を得る。
(3) ガレージセール(バザー)
(4) その他有数な方法を皆様よりお教え下さい。

ファンド委員一同、初仕事で、大いに意気込んでいます。外部より資金を集めると云っても、やはり先ず会員各位のご協力がなくてはとてできないことでもありますので、皆様のご協力をお願いいたします。

▽ プログラム委員会 — 7月25日(水)

1. 新年合同例会の「ホスト役」決まる。

来年1月12日(日)に行われる新年合同例会の大役が、このたび我がセンテニアルクラブに決定しました。準備期間も十分ありますので、企画をわりクラブの全員が総力をあけて対応しましょう。

2. 当クラブの1月第1例会はこのところ合同例会に代えていましたが、来年度より上記とは別に第3水曜日に行う予定です。

3. 紀の川クラブのチャーターナイトが8月19日(日)に行われますが、当クラブからは中村会長以下、杉本、谷川、山田君が出席します。

4. 近隣クラブへの訪問について

かねてより話のありました近隣クラブ訪問を9月より開始します。時に例会欠席者はこの機会にメイクアップを兼ねて、他クラブの活動状況等、視野の拡大に努めて下さい。各クラブの開催日と引率者は次の通りです。

大阪サウスクラブ 9月4日(火) 引率者：黒田君
大阪長野クラブ 9月7日(金) 引率者：杉本君
大阪クラブ 9月11日(火) 引率者：山田君、山中君、山村君

5. クリスマスファミリー祝会について

例年クリスチャンセンターで行っていましたが当クラブの祝会は、今年より土佐堀の新館で行うことになりました。日時については、12月15日(日)午後5時より8時までを予定しています。

6. 中西部会は9月23日に行われますが、出席者の登録は8月25日までにとなっておりますので、8月22日(水)の例会までに申込んで下さい。

▽ センテニアル・ファミリーキャンプ盛大に行なわれる。 — 7月29日(日) 11:00~15:00

夏の日のファミリーサービスとして、豪快なアメリカンバイキングで第2例会が催された。小雨もよりの六甲山頂の研修センターで、藤井リーダーの指令のもと、メン、メネット、コメットが手わけして準備、ゲストの大谷君の見事な腕前が、さすがワンダーフォーゲル部キャンプテンと観衆をうならせた。料理も材料が最高級のものであったせいか全員がとろけるような顔であった。山中・安福の両君も急拠かけつけ、楽しい夏のひとときを予定どおり無事終了した。



今月の聖句によせて

黒田 巖之

これは友人に忠告をする場合の心得を教えたキリストの言葉ですが、私どもの日常生活においても直ちに当てはまる教えます。近代経営学においても、「部下に注意するときは、他の人のいない所でさすとすることが大切である。なぜなら他の人びとの前で大声で叱ったりすると、その部下はあなたの真意を理解するどころか、衆人環視の中で、恥をかかされたなどと、逆に、反感と恨みをもつだろう」と教えています。

二人で徹底的に話しあうことの大切さと、そして相手が非常に頑なな人であれば、その場合は知恵を働かせて、話のわかる他の人びとを同席させ、後日証人になってくれることをも考慮に入れて、そうすべきことを教えています。



L. HIRANAKA 氏受賞

私達のブラザー、ハワイ、ヌアヌ・クラブのL. HIRANAKA氏が、今度、ヌアヌYMCAの「国際奉仕賞」を受賞しました。

彼の功績の一つに、私達大阪センテニアルとヌアヌ・クラブとのブラザー・クラブ締結が挙げられます。以下、近着のNUUANU Y's UP(ヌアヌ・クラブのプレテイン)の記事を引用します。是非、お読みいただき、お祝いのメッセージを贈ってあげようではありませんか。

CONGRATULATIONS, LARRY-SAN!

(谷川)

LARRY HIRANAKA.....RECIPIENT OF NUUANU YMCA'S INTERNATIONAL SERVICE AWARD

LARRY HIRANAKA, our long time active Y's Man and Nuuanu Y Board of Managers member, was awarded the first Nuuanu YMCA's International Service Award at the Nuuanu YMCA Volunteer Recognition/Board Induction Banquet at the Plaza Club on June 22nd. (See related article)

Among the various accolades cited by International Chairman ROLAND SAGUM in introducing LARRY were his service on the Nuuanu Y Board and International Committee, participation in all programs sponsored by the Y including the Hiroshima Exchange Program, Utsunomiya YMCA Study Tour Program, Summer Youth Production, active member of the Nuuanu Y's Men's Club, and active participation in the Y's Men's Pacific Convocation.

During the past year, he was responsible for establishing a brother club relationship between the Nuuanu Club and the Osaka Centennial Club of Japan and is serving as Y's Men Regional Service Director for Brother Clubs during the current year.

LARRY has been extremely active in hosting and homestay programs. He has hosted guests from Norway, Japan, Taiwan,

Hong Kong, Canada, Australia, Korea, California and the Mariana Islands — just to name a few.

He is extremely aware of the uniqueness of cultures around the world and his ability to be a great host to all of his International visitors. He treats every International experience as a learning experience from which he seeks to learn more about the world's people.

LARRY exemplifies the Nuuanu YMCA's involvement with the International programs.

CONGRATULATIONS LARRY!



世界のYMCAとワイズ — ジュネーブを訪ねて —

谷川 寛



約一ヶ月にわたるヨーロッパ出張の折、ジュネーブに立寄る機会がありました。

主目的は、国際ワイズの主要事業の一つ、タイム・オブ・ファーストの次のプロジェクトを何にするか、

世界YMCA同盟の担当主事の人々と話し合うことでした。

次のTOFについては、国際議会で承認を得られましたら、詳しく御紹介しましょう。

世界同盟本部にて、ヘクター・カセリ世界同盟総主事と懇談する機会がありました。席上、同主事は、是非私に読んでほしい、として世界同盟の機関誌の一つ "KEEP IN TOUCH" の最近号をみせました。そこで同総主事は、世界のYMCAと国際ワイズの協調関係を力説しています。同総主事は、この記事の中で、みなさま御存知の国際ワイズと世界Y同盟の「協力関係の原則」が1981年に結ばれたこと、今後世界の各地でワイズとYMCAとの密接な相互の働きかけを、世界の各地のYMCAにアピールしています。その他、ワイズのタイム・オブ・ファーストの事業を通して、ワイズの世界同盟への協力関係をPRしています。

以下、原文のまま御紹介しましょう。是非、御一読下さい。

On October 15th I sent a letter to National General Secretaries and Area Executives, reminding them that the President's Committee had approved in February 1981 the "PARTNERSHIP PRINCIPLES," devised together between authorities of the World Alliance of YMCAs and Y's Men International. The President's Committee "encouraged their review, study and application at local, national and area levels." Relationships and cooperation among YMCAs and local Y's Men Clubs has increased, improved and deepened.

This is a good opportunity to remind ourselves of the outstanding cooperation given by Y's Men International through its "Time of Fast" programme since 1974. They have assisted the following projects and programmes :

- 1974-75: Famine relief in Ethiopia (US\$ 13,000).
- 1975-76: Development of Bangladesh YMCA (US\$ 15,000).
- 1976-77: A YMCA urban development project in Uruguay (US\$ 20,000).
- 1977-78: A YMCA rural development project in Papua/New Guinea (US\$ 25,000).
- 1978-79: Development of the Senegal YMCA (US\$ 30,000).
- 1979-80: Support to the Bangkok YMCA schooling programme for children in Sob Touong, Thailand.
- 1980-81: Refugee Camp, Thailand. (US\$ 122,600)
- 1981-82: Support to the development of a new YMCA school in the poor slum area of Alalay outside Cochabamba, Bolivia (US\$ 60,000); and support to the further development of Jamaica YMCA (US\$ 30,000).

Immediately after the principles of partnership were adopted, Y's Men International committed its support to the world Alliance Leadership Development

Programme - phase II (1981-1984). The total budget of this unique leadership programme is S. Fr. 2,380,000. Y's Men International has already committed its financial support for a total contribution of S. Fr. 450,000. Y's Men International, according to local, national and regional situations, is benefiting with direct involvement in the programme.

YMCA ニュース



◇ 開発教育全国研究集会開かる。

YMCAは全国的に "共に生きる世界" を作るための開発教育プログラムの普及に力を入れています。第2回全国研究集会が8月25・26日、大阪YMCAで開かれます。関心のある方は誰でも参加出来ます。詳細は受付までお問合せ下さい。

◇ ホームステイを引受けて下さい。

この10月に西ドイツをはじめ世界各国から18名の青年たちが大阪にやってきました。目下ホームステイを引受けて下さる方々を探しています。センテニアルワイズの皆さんもどうぞ協力の程お願いします。